

薬品化学研究室新型コロナウイルス対応方針（緊急連絡）

令和2年4月19日版

令和2年5月6日までの緊急措置事項

1. 岐阜県危機管理政策課の「新型インフルエンザ等対策特別措置法（特措法）」に基づく要請を受けて、令和2年5月6日（水）までの期間、岐阜薬科大学薬品化学研究室への学生の登校を自粛することとします。
2. 感染の危険性を極力回避して、可能性を下げる対応が必須です。薬品化学研究室の学生達は、既に十分な打ち合わせ・実践しているので、理解度も高いと自信を持っていますが、それでも以下の各項目を再確認して下さい。なお、過度に反応・心配しすぎる必要はありません。冷静に落ち着いた対応（報告・連絡・相談）に努めて下さい。
3. 自宅学習・待機が基本となるが、帰省などの移動を含めた広域移動は極力自粛して下さい。同様に、実家からの親御さん等の下宿訪問もできる限り回避していただく様お願いします。もし、移動したり他の地域から移動してきた人と接触した場合には、**必ず職員に報告（メールか電話）**して下さい。プライバシーの問題はありますが、それぞれの個人と研究室への感染リスクを抑制するための対応です。守秘義務を守って対応するので、協力を御願います。
4. 会社面接等も、Webで実施される場合がほとんどですが、会社訪問しなくてはならない場合は、事前に必ず職員に報告（メールか電話）して下さい。
5. 毎朝体温を測定して9時までにGoogle スプレッドシートに記入して下さい（男女別管理）。熱が高めの学生には**職員から連絡をする**場合があります。
6. 体調が悪く、買い出しなどのヘルプが必要であれば、職員への電話あるいはメールで遠慮なく申し出て下さい。風邪・花粉症等々は常に可能性があるので心配は無用です。ただ、可能性はどこにでも転がっています。その対応については、職員が判断します。過度に反応することなく、落ち着いて報告・連絡・相談して指示を受けて下さい。
7. **病院で診察を受けた場合は**、感染リスクなどの観点から必ず職員に報告して下さい。
8. 毎日の自宅学習やセミナーの予定を9:00頃までに澤間先生か山田先生にメールまたはSlackで報告して下さい（簡単に分かりやすく記載）。
9. 毎日の研究・勉強の成果を18:00頃までに澤間先生か山田先生にメールまたはSlackで報告して下さい。
10. 澤間先生と山田先生は、学生からの9:00と18:00の定時報告がない場合は、電話等で直接コンタクトして確認すると共に、それでも連絡がつかなければ速やかに佐治木まで報告して下さい。この場合は有事の可能性を考慮して迅速に対応します。
11. 「リサーチセミナー」は当面中止とします。

12. 「文献セミナー」はZoomによる会議体制で週2回実施します（学生居室、下宿・自宅等からの参加が可能です。5月6日まではできる限り下宿・自宅から参加してください）。
13. 文献を学生居室でダウンロードする必要もあるかと思いますが、マスク着用・極力短時間で済ませるようにして下さい。使用したパソコン等、接触した場所の、除菌・消毒をしっかりと退出して下さい。
14. 「文献セミナー」発表者は**15分で発表、質疑応答15分**の基本線を進め、1回当たり2名が発表します（合計**60分程度で終了する**）。週2回。スケジュールや詳細はセミナー係が連絡した資料を参照。
15. 「医薬品のプロセス化学」に関する研究室限定講義を実施します（佐治木担当）。1回当たり45分、合計10~12回を予定、週2回のペースで開講します。スケジュールや詳細はセミナー係からの資料を参照。
16. 澤間先生と山田先生による毎週1回の人名反応を中心とした課題がメールで出題されま
す（1回5題程度）。締め切りまでしっかりと考えて、自分なりの答えを返信して下さい。
17. 大学事務局や研究室に必要なあって出入りする必要がある場合は、**マスク着用・極力短時間**で済ませるようにして下さい。
18. 集団での飲食を避て下さい（外食はできるだけ避けてほしいのですが、毎回コンビニ弁当というわけにもいかないですね。食事に行くときも気をつけましょう（消毒用のウェット持参など、適宜考えて下さい）。**車の相乗りも3密状態**です。せめて2名くらいまでにして、後部シートを使うなど工夫して下さい）。**居酒屋や下宿での飲み会**はもつてのほか！絶対にしない！
19. 買い物でスーパーマーケット等に行く際にも、できるだけ「**触れない**」様に気を遣って下さい。買い物かごの取っ手等、他の人が触れる箇所は特に気をつけて、除菌・殺菌用のウェットシートなどで**適宜消毒**して下さい。
20. 自宅・下宿でも定期的な「**換気**」を励行して下さい。
21. 平日9:00~17:30のみ、職員はローテーションを組んで一名だけ出勤して研究室で作業しますが（有事対応）、それ以外はテレワークに切り替えた自宅勤務とします。
22. 先日のZoom接続テストの際にもお伝えしましたが、一人一人が孤立しているわけではなく、研究室全員が繋がっています。職員は学生の方向を見ています。心配なんてありません。何かあれば、メールや電話でいつでも連絡を取って下さい。場合によっては、それぞれがZoomで話すこともできます。論文や資料の準備をしなくてはならない先輩達は十分な時間が取れるし（ちょっとプレッシャーをかけたりにしていますね。極端なことを言えば、博士論文の作成にぼちぼちと取りかかってもいいんですよ）、学年の若い皆さんも、まとまって勉強できる良い機会です。積極的に自分の力になる肥料を投

入して下さい。逆に、新型コロナウイルスのおかげで「こんな成果が挙げた」、「成果はあまり挙げなかったけれど、とても貴重な体験ができた」等々、プラスに変えることができるように頑張りましょう。皆で立ち向かって、**新型コロナウイルス感染症を跳ね返しましょう！**